

(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立興陽高等学校		
実践者等	秋山 美佳	実践日	令和4年5月～7月
実践場面 <small>(教科・科目(単元名)、学校行事等)</small>	保育技術検定4級に向けた指導		
対象生徒(学年等)	家政科2年 講座選択 子ども文化選択者16名		
育成を目指す資質・能力	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・技能 <input checked="" type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等 <input type="checkbox"/> 学びに向かう力・人間性等		
分類	授業中	<input checked="" type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input type="checkbox"/> 思考やデータの可視化	
		<input type="checkbox"/> データの共有や共同編集 <input type="checkbox"/> 対話を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 思考を促す活用	
		<input type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 課題のやり取りと評価の支援 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化や省力化	
家庭学習	<input type="checkbox"/> 振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 探究 <input type="checkbox"/> 反転学習 <input checked="" type="checkbox"/> 補習・定着		

実践の内容

【授業】〈保育技術検定4級取得に向けた指導で活用した事例〉

保育技術検定には「音楽・リズム表現技術」「造形表現技術」「言語表現技術」「家庭看護技術」の4種目がある。そのうち次の2種目の指導の際に、1人1台端末を活用した。

《音楽・リズム表現技術》

(検定内容)「みんなのうた200」の中から指定された課題曲を、拍子を打ちながら歌う。

(活用内容)コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一斉に歌唱することが難しいため、自宅で自分の歌を撮影、教員に提示させた。

(成果と課題)歌っている姿勢や音程、リズムなどを客観的に振り返ることができた。課題曲について、規定の音程やリズムを正しく表現したサイトを視聴するよう指導していきたい。3級のピアノ指導の際にも端末を活用し、生徒個々の実力にあわせて指の形、打鍵の強さなどの振り返りに活用していきたい。

《造形表現技術》

(検定内容)規定されているものも含めて6種類の折り紙を折る。

(活用内容)最初に全員で同じ折り方図を見て折り、出来上がりの折り紙の形や評価基準を確認した。規定の方法を確認後、折り方の見本をクラスルームに配信し、各自で折り紙に取り組んだ。その後は、端末を使って一人ひとり折り方を研究しながら折り紙を制作した。

(成果と課題)一人一台端末を活用することで、生徒各自で次々に練習に取り組むことができ、個別の指導が必要な生徒には必要なポイントを逃すことなく個別指導を行うことができた。



〈端末を見ながら折り紙を折る〉



〈造形表現技術4級折り紙 出来上がり作品〉

【本時と家庭学習との連動】

- ・検定の合格に向け、家庭で歌や折り紙の練習を重ねた。

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)